

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700031
事業所名	グループホーム 長寿の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。地域行事は再開され、入居者の状態や施設状況に応じて検討している。地区の文化祭に入居者の干支の作品を出展したり、近隣の商店とは継続して交流している。日々の散歩で行き交う地域の方々と挨拶を交わしたり、野菜などのお裾分けを頂くなど地域の一員として交流を深めている。ボランティア活動も再開し大正琴、手話サークル、サクソ演奏など受け入れている。また、看護学校の実習生も受け入れている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は2か月に1回、入居者、町内会長、民生委員、市職員、地域包括支援センター職員、等の参加を得て開催している。事業所の運営状況や活動、研修内容などの報告説明を行い、参加者との積極的な意見交換が行われている。内容によっては、その場で話し合ったり、職員会議で検討しサービスの向上に活かしている。各委員や家族には議事録を配布している。家族の参加については課題としている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 認定書類や更新の代行業務などで行政へ出向き、事業所の取組みなどを伝え、アドバイスを受けている。何かあれば電話やファックス、メールなどで連絡を取り合い情報交換を行っている。運営推進会議に毎回の出席があり、法令に関する変更事項等の指導を受けたり、認定調査などで来訪し実地指導を受けるなど良好な協力関係にある。管理者は社協から「運営推進会議のあり方」の講師として依頼を受けている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日常ケアの中で意見や要望を聴いている。家族からは面会時や衣類等の届け物時、介護計画の見直しなどで直接意見や要望を聞いたり、電話やメールで尋ねたりしている。意見は管理者が内容を集約して職員へ周知し、運営に反映させている。家族には担当職員から毎月、日常の様子や報告と数枚の写真を送付している。また、3か月毎に、イベントや食レクの様子の写真にコメントも添えて掲載した「グループホーム通信」を送付している。意見箱も設置し意見が述べやすい環境を整えている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	例に関する指導を受けた。変更事項などの ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	○	—	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎	○						